

月刊 星空の散歩道 10月号

2023年

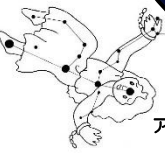
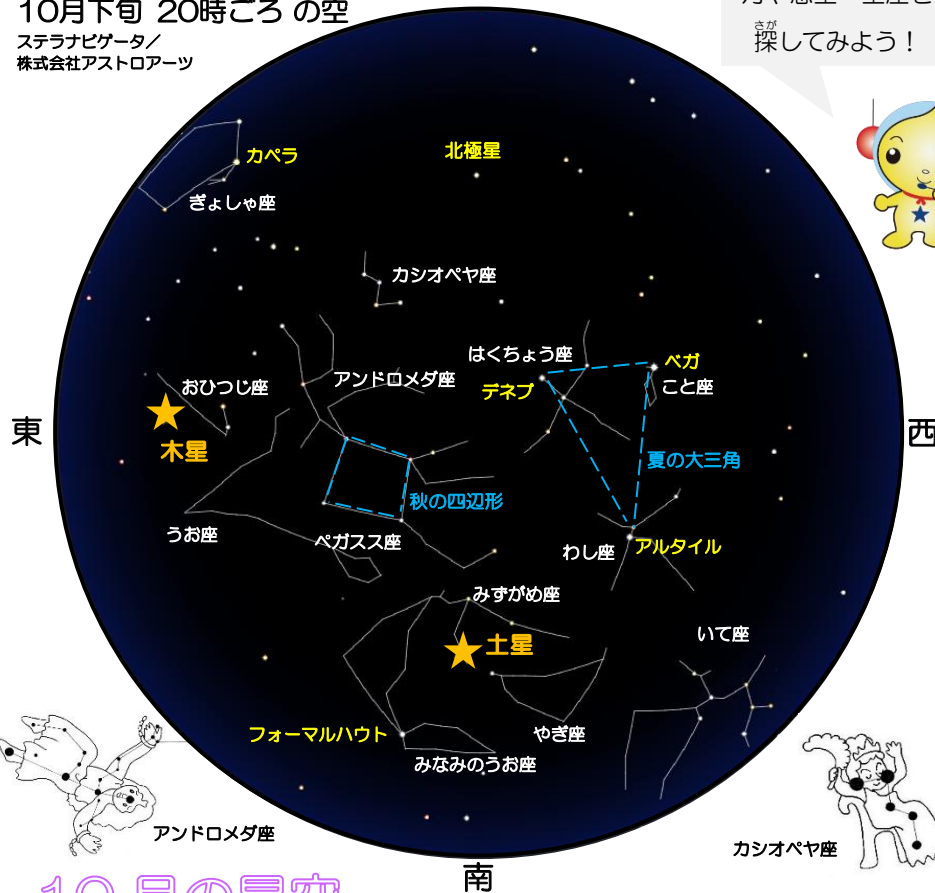
10月上旬 21時ごろ

10月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

北

月や惑星・星座を
探してみよう！



10月の星空

☆夜空の主な星座と明るい星☆

夏の星座は西と天頂、秋の星座は南と天頂、冬の星座は東の空に見えています。

- < 西 > こと座 (ペガ)、わし座 (アルタイル)
- < 天頂 > はくちょう座 (デネブ)、ペガサス座、アンドロメダ座
- < 南 > みなみのうお座 (フォーマルハウト)
- < 東 > ぎょしゃ座 (カペラ)
- < 北 > 北極星、カシオペヤ座

☆天文トピック☆

10月24日 月が土星に接近

月のすぐ近くに土星が見えます。

10月27日 後の月

旧暦9月13日の月。「中秋の名月」と共に月を眺める風習があります。

10月29日 部分月食

明け方、西の低空で浅い部分月食が見られます。

部分月食	時間	高度
始まり	4時34分	20度
最大	5時14分	12度
終わり	5時53分	5度



この日、
月の近くに
木星が見えます。

☆月の形の変化☆

- 10月6日 下弦
- 10月15日 新月
- 10月22日 上弦
- 10月29日 満月

☆10月の惑星☆

- 金星…明け方、東の空
- 木星…真夜中、南東の空
- 土星…日没後、南の空

<天文コラム> 今年はプラネタリウム100周年① 歴史

丸いドームの中に星を映し出す投影機がそびえ立つプラネタリウムは1923年にドイツで誕生しました。10月21日、関係者に向けて試験公開したところ大絶賛を受け、1925年にはドイツ博物館で常設されることになりました。

世界初の投影機「カール・ツァイスⅠ型」は約4,500個の恒星と太陽・月・5つの惑星に加え、月の満ち欠けや天体の日周・年周運動も表現することができました。さらに改良され、世界中の星空投影を可能にした「カール・ツァイスⅡ型」が製作され、これをきっかけに世界各地にプラネタリウムが広まりました。日本では、1937年に初めて大阪市立電気科学館に設置されました。

そして1950年代になると日本製プラネタリウムも登場します。千代田光学精工(株)(現コニカミノルタプラネタリウム(株))は「ノブオカ式Ⅰ型」を、(株)五藤光学研究所は「M-1型」を製造しました。1990年に開館した当館はコニカミノルタ製「MS-15AT」を設置し、2013年からは大平技研製「MEGASTAR-Ⅱ B itami」に更新しています。歴史を感じながら今のプラネタリウムを見てみてはいかがでしょうか。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2023年9月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

